

（様式2） 実行計画管理シート

事業名		96	男女共同参画啓発・相談事業	部・課	市長公室 人権政策室
総合計画との関係	基本目標等	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等	12 男女がともに参画し、個性を発揮できるまち			
	取り組みの方向	12-① 固定的な性別役割分担意識の解消に向けて、男女共同参画意識の向上に取り組むとともに、女性の職業生活などにおける活躍の推進を図るなど、男女がともに活躍できる場の拡大を図ります。			
	（関連施策目標等）				
	（関連施策目標等）				
	4つの重点的に進める施策との関係				
との関係	基本目標				
	施策目標				
市長公約との関係		＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明				
	2016(H28)年度 市政運営方針	○	人権課題を身近に感じ考える機会として、次代を担う子どもたちに対し、暴力の被害者や加害者にならないためのDV予防や男女共同参画の理解を深める学習を実施するなど、効果的な人権教育・啓発活動を推進する。		
	2017(H29)年度 市政運営方針	○	男女共同参画社会の実現に向け、男女平等教育の推進や、多様な性への理解促進を目的とした啓発に取り組む。		
	2018(H30)年度 市政運営方針				

事業概要 （目的・内容等）	男女がともに活躍できる環境づくりに向けて、「男女共生フロア・ウィル」を拠点として、男女共同参画に関する講座の開催など啓発に取り組むとともに、女性のための各種相談支援を行う。平成28年度からは、男女共同参画社会づくり支援講座とウィル・フェスタを統合し、他部署とも連携しながら、新たに「市民参画型男女共同参画啓発事業」として再編し、女性の活躍推進を応援するイベントや、男性や子どもが男女共同参画を主体的に考えられる講座等を開催し、幅広い市民の参加促進に努める。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・男女共生フロア・ウィルを拠点に、男女共同参画に関する各種講座をNPOや市民団体とも連携しながら実施。 ・男女共生フロア・ウィルにおいて女性のための各種相談（面接・電話・法律）を実施。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・市民参画型男女共同参画啓発事業等、男女共同参画に関する各種講座の開催 ・女性のための各種（面接・電話・法律）相談支援
	実績（評価）	・男女共同参画週間事業「スポーツから考える男女共同参画～強くやさしい社会の実現に向けて～」(6/18 103人) ・わたしにもできる！家族を守る防災講座(8/24 43人) ・女性のための起業セミナー、ワークショップ(10/21、10/28、11/4 39人) ・ウィルdeシネマ「リリーのすべて」(2/17 121人) ・シングルマザーのお気軽サロン(交流会、番外編講座)(4～3月(8月、12月除く)計10回 延べ72人) ・ウィル・フェスタ2016(コンサート、映画会、市民による展示・講座他)(11/26～27 延べ1004人) ・女性のための相談(面接439件、電話521件、法律121件)
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・男女共同参画週間事業「パパはお天気キャスター～子育て・家事できることから考えよう～」(6/17 112人) ・今からはじめる！老後を豊かにするためのお金の話(5/18 31人) ・私を知るための母娘関係講座(7/26 31人) ・心と身体を大切にするための親子で学ぶ性のはなし(8/2 36人) ・ウィル・フェスタde起業体験！ワークショップ(10/20、10/27 10人) ・ウィルdeシネマ「彼らが本気で編むときは、」(3/8 94人) ・シングルマザーのお気軽サロン(交流会、番外編講座)(6～3月(8月除く)計9回 延べ40人) ・ウィル寄り道講座(11回 延べ117人) ・LGBTに関するパネル展(10/2～31 延べ183人) ・移転1周年記念ウィル・ミニ・フェスタ(3/22 38人) ・ウィル・フェスタ2017(トークショー、映画会、市民による展示・講座他)(11/18 延べ1288人) ・女性のための相談(面接441件、電話538件、法律112件)
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・男女共同参画週間事業「男女がともに生きやすい社会を！もっと元気にもっと楽しく生きるためのパートナーシップのすすめ」(6/23 52人) ・子育てパパ向け講座(8/4 11人) ・女性のための基礎から学ぶ起業セミナー(9/20、9/27 41人) ・離婚が頭をよぎったら知っておきたいお金の話(11/5 22人) ・離婚しても困らないための住宅探しの基礎知識(11/19 22人) ・ウィルdeシネマ「ドリーム」(2/22 137人) ・CMに描かれる女性像～つくられる「女らしさ」への気づき～(3/14 17人) ・ひらかた・にじいろ宣言式記念講演「僕たちのカラフルな毎日 弁護士夫の波瀾万丈奮闘記(3/28 90人) ・シングルマザーのお気軽サロン(交流会、ひとり親制度説明会等)(5～3月(8月・1月除く)計9回 延べ31人) ・ウィル寄り道講座(9回 延べ87人) ・ウィル・フェスタ2018(1人芝居、映画会、市民による展示・講座他)(11/17 延べ949人) ・女性のための相談(面接435件、電話580件、法律121件)

2019(R1)年度 の取り組み	→推進
	昨年度課題としてあげていた男性のための電話相談を開設するとともに、啓発に努めた。 ・男女共同参画週間事業「男の家事が社会を救う！～楽しく学べるジェンダー論」(6/29 83人) ・離婚を考える女性のための連続講座「離婚しても困らないための住宅探しの基礎知識」(11/11 12人) ・離婚を考える女性のための連続講座「離婚が頭をよぎったら知っておきたいお金の話 ～家計・保険・仕事～」(11/18 16人) ・女性のための基礎から学ぶ起業セミナー(1/29、2/12 57人) ・ウィルdeシネマ「愛と法」(8/29 2回上映 135人)「空と、木の実と。」(8/30 51人) ・シングルマザーのお気軽サロン(交流会、ひとり親制度説明会等)(5～3月(1月除く)計10回 延べ17人) ・ウィル寄り道講座(8回 延べ91人) ・モアメイム原画展(92人) ・ウィル・フェスタ2019(性的マイノリティ当事者の方の講演・コンサート、映画会、市民による展示・講座他)(9/21 延べ752人) ・女性のための相談(面接424件、電話587件、 法律112件) ・男性のための電話相談15件
備考	

課題・今後の対応	・男女共同参画意識の醸成のため、性別にかかわらず、様々な年代が参加しやすい講座やイベントを行う。 ・令和元年度に開始したLGBT専門電話相談、男性のための相談事業の充実、周知を図る。 ・今後、男性対象の啓発講座や、多様な性への理解促進を目的とした啓発活動に取り組むとともに、相談事業の充実を図る。
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中 達成状況（市長公約） ○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
啓発事業参加者数			1,683	2,112	1,382	1,980	1,459	1,306	-	人	
指標の説明			前年度実績より5%増加を毎年度の目標値とする。 令和元年度はウィル講座の会場として主に使用しているメセナひらかた会館の工事、また新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となった講座等があり、参加者数は減少した。							当初目標値	達成年度
啓発事業延べ参加者数											

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	9,926	193	0	0	0	13	9,720
2017(H29)年度	10,132	86	0	0	0	3	10,043
2018(H30)年度	11,274	84	0	0	0	0	11,190
2019(R1)年度	11,733	67					11,666

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費	0 千円	，用地費	0 千円)
--------------	------	-------	------	------	--------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		97	政策等の意思決定等における男女共同参画推進事業		部・課	市長公室 総務部 学校教育部	人権政策室 人事課 教職員課
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち				
	施策目標等		12 男女がともに参画し、個性を発揮できるまち				
	取り組みの方向		12-① 固定的な性別役割分担意識の解消に向けて、男女共同参画意識の向上に取り組むとともに、女性の職業生活などにおける活躍の推進を図るなど、男女がともに活躍できる場の拡大を図ります。				
	(関連施策目標等)						
	(関連施策目標等)						
	4つの重点的に進める施策との関係						
と総合戦略の関係	基本目標						
	施策目標						
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞				
	所信表明		○	男女共同参画の視点から、市職員においても女性の幹部登用の推進			
	2016(H28)年度 市政運営方針						
	2017(H29)年度 市政運営方針						
	2018(H30)年度 市政運営方針						

事業概要 (目的・内容等)	多様な視点を市の政策等に反映させるため、審議会等における女性委員の参画拡大を図る。また、女性職員のキャリアアップに対するモチベーションの源泉となるよう、女性職員の管理職への登用の推進を図る。
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況		(人権政策室) 市の審議会等の委員選出時には、女性委員比率を達成するよう取り組んだ。 (教職員課) 学校における方針決定の場への女性の参画を推進してきた。 (人事課) 市役所での男女共同参画を進めるため、市の管理職への女性職員の登用を推進してきた。	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・審議会等への女性委員の参画拡大に向けた取り組みの推進 ・女性職員の管理職への登用の推進	
	実績(評価)	(人権政策室) 市の審議会等の委員選出時に、委員比率が達成していない審議会については理由を確認し、引き続き達成に向け取り組んでもらえるよう意識付けを行った。 (教職員課) 学校運営において、女性管理職の割合の増加及び首席・主任への積極的な活用など、学校における方針決定の場への女性の参画を推進した。 (人事課) 平成31(2019)年度に30%という目標の達成に向けて、女性職員の登用拡大に努めた。また、自分自身の能力やライフイベントを視野に入れたキャリア・デザインについて改めて考えるとともに、女性管理職との意見交換等を行う場として、女性職員を対象としたキャリアプランニング研修を実施した。	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績(評価)	(人権政策室) 市の審議会等の委員選出時に、委員比率が達成していない審議会については理由を確認し、引き続き達成に向け取り組んでもらえるよう意識付けを行った。 (人事課) 女性職員の登用拡大に努めた。また、女性管理職との意見交換を行うとともに自分自身のライフイベントを視野に入れたキャリア・デザインを改めて考える場として、女性職員を対象としたキャリアプランニング研修を実施した。 (教職員課) 学校運営において、女性管理職の割合の増加及び首席・主任への積極的な活用など、学校における方針決定の場への女性の参画を推進した。	

2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	(人権政策室)市の審議会等の委員選出時に、委員比率が達成していない審議会については理由を確認し、引き続き達成に向け取り組んでもらえるよう意識付けを行った。 (人事課)平成31(2019)年度に30%という目標の達成に向けて、女性職員の登用拡大に努めたが、昇任人数と比較して退職者数の増加が上回ったことにより、前年度と比べて若干比率が下がる結果となった。また、女性管理職との意見交換を行うとともに自分自身のライフイベントを視野に入れたキャリア・デザインを改めて考える場として、女性職員を対象としたキャリアプランニング研修を実施した。 (教職員課)学校運営において、女性管理職の割合の増加及び首席・主任への積極的な活用など、学校における方針決定の場への女性の参画を推進した。
2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	(人権政策室)市の審議会等の委員選出時に、目標の委員比率(女性委員比率35%)を達成していない審議会については理由を確認し、引き続き達成に向けて取り組んでもらえるよう意識付けを行った。 (教職員課)学校運営において、女性管理職の割合の増加及び首席・主任への積極的な活用など、学校における方針決定の場への女性の参画を推進した。 (人事課)令和元年度(2019年度)に30%という目標の達成に向けて、女性職員の登用拡大に努めた。また、管理職員の魅力ややりがいを知ってもらうことなどを目的として、女性ロールモデルを提示し、女性管理職へのインタビューを実施した。
備考		

課題・今後の対応	市政の方針を決定するにあたり、多様で柔軟な発想のもと、意思決定を行っていくためには、女性職員の管理職員への登用、審議会等への女性の参加をさらに推進する必要がある。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
審議会等への女性委員登用率	○		50.0	52.5	50.8	51.7	51.4	55.2	100	%	
指標の説明			引き続き目標値達成に向け、意識啓発を行う。							当初目標値	達成年度
女性委員比率が35%を達成している審議会等／全審議会等											

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
管理職に占める女性の割合	○		21.7	21.6	23.0	24.9	24.3	26.0	30	%	
指標の説明			女性職員を対象とした研修内容を工夫する他、より一層、女性職員の登用拡大に努め、引き続き目標達成に向け、推進する。							当初目標値	達成年度
市役所における女性管理職／全管理職											

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(R1)年度	0						

整備事業の場合の総事業費	0千円	(建設経費	0千円	，用地費	0千円)
--------------	-----	-------	-----	------	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		98	ワーク・ライフ・バランス推進事業	部・課	市長公室 総務部	人権政策室 人事課 職員課
総合計画との関係	基本目標等	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち				
	施策目標等	12 男女がともに参画し、個性を発揮できるまち				
	取り組みの方向	12-② 男女がともに仕事と生活を両立することができるよう、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進を図ります。				
	(関連施策目標等)					
	(関連施策目標等)					
	4つの重点的に進める施策との関係					
総合戦略との関係	基本目標	2 安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える				
	施策目標	2 子どもたちが健やかに育つことができるまち				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明	○	男女がともに子育てに取り組めるよう意識啓発を推進する。男性の育児休業、介護休暇の取得を推進			
	2016(H28)年度 市政運営方針	○	女性活躍推進法や次世代育成推進法に基づき策定した各行動計画に掲げる、女性職員の活躍やワーク・ライフ・バランスの取り組みを推し進めるとともに、メンタルヘルス対策の強化を図る観点から、ストレスチェック制度を導入するなど、職員の能力を引き出し、さらに伸ばしていくための職場環境づくりに取り組む。			
	2017(H29)年度 市政運営方針	○	働き方改革が注目される中、ワーク・ライフ・バランスの促進を図るため、市内事業者を対象とした研修会を実施するなど、取り組みを充実する。			
	2018(H30)年度 市政運営方針	○	仕事と家庭を両立させながら豊かな生活を送ることができるよう、ワーク・ライフ・バランスの意識向上を図るための啓発活動を引き続き推進する。			

事業概要 (目的・内容等)	男女がともに仕事と生活を両立することができるよう、事業者や労働者などに対し、育児・介護休業の利用促進に向けた啓発を実施する。また、本市においても、「枚方市特定事業主行動計画」に基づき、ワーク・ライフ・バランスの啓発を行う。
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況	<p>(人権政策室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枚方事業所人権推進連絡会総会において、ワーク・ライフ・バランス啓発リーフレットの配布を行った。 ・男女共生フロア・ウィル主催の男女共同参画週間事業等において、ワーク・ライフ・バランス啓発リーフレットを配布するほか、ウィル・フェスタにおいて、ワーク・ライフ・バランス展を開催した。 <p>(職員課・人事課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退庁日の徹底のため、平成27年度に運用を開始した「ノー残業デーシート」に加え、水曜日の勤務時間前及び就業時間後に流している定時退庁啓発放送について、朝から計画的に業務を行うことを重点に置く内容に見直すとともに、平成29年1月の変更第1回目については、市長からの啓発促進メッセージ放送を行った。 また、男性職員の育児休暇制度等の取得啓発を促進するためのパンフレット作成に向けた、今まで育児休業を取得した男性職員又は、現在、子育て中の男性職員による座談会を開催したほか、部下の育児を支援し、仕事と生活を両立しやすい職場環境づくりのため、課長以上の管理職を対象として、部下の仕事と育児の両立に理解のある上司“イクボス”を養成するための研修を実施した。 さらに、新たに創設した介護時間休暇などの内容について改訂した「子育て支援と介護のための休暇・休業ハンドブック」により職員への制度周知を行うなど、引き続き、介護休暇や男性職員の育児休業等の利用促進に向けて取り組みを実施した。 	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座等におけるリーフレットの配布などワーク・ライフ・バランスの啓発 ・特定事業主行動計画に基づく本市職員のワーク・ライフ・バランスの推進
	実績(評価)	<p>(人権政策室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枚方事業所人権推進連絡会総会において、ワーク・ライフ・バランス啓発リーフレットの配布を行った。 ・男女共生フロア・ウィル主催の男女共同参画週間事業等において、ワーク・ライフ・バランス啓発リーフレットを配布するほか、ウィル・フェスタにおいて、ワーク・ライフ・バランス展を開催した。 <p>(職員課・人事課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退庁日の徹底のため、平成27年度に運用を開始した「ノー残業デーシート」に加え、水曜日の勤務時間前及び就業時間後に流している定時退庁啓発放送について、朝から計画的に業務を行うことを重点に置く内容に見直すとともに、平成29年1月の変更第1回目については、市長からの啓発促進メッセージ放送を行った。 また、男性職員の育児休暇制度等の取得啓発を促進するためのパンフレット作成に向けた、今まで育児休業を取得した男性職員又は、現在、子育て中の男性職員による座談会を開催したほか、部下の育児を支援し、仕事と生活を両立しやすい職場環境づくりのため、課長以上の管理職を対象として、部下の仕事と育児の両立に理解のある上司“イクボス”を養成するための研修を実施した。

2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	<p>（人権政策室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枚方事業所人権推進連絡会総会において、ワーク・ライフ・バランス啓発リーフレットの配布を行ったほか、研修会で「ワーク・ライフ・バランスを実現する職場づくり」と題した講座を実施。また、会員を対象にワーク・ライフ・バランスに関する取り組み状況についてアンケートを実施し、結果を市ホームページにて公表した。 ・男女共生フロア・ウィル主催の男女共同参画週間事業等において、ワーク・ライフ・バランス啓発リーフレットを配布し、ウィル・フェスタにおいて、ワーク・ライフ・バランス展を開催した。 <p>（職員課）</p> <p>これまでから取り組んでいるノー残業デー実施シートやノー残業デー放送を引き続き実施するとともに、男性職員の育児参加目的の休暇等の取得促進の観点から、男性職員の育児休業等に関する制度説明会として、平成30年3月に「イクメンミーティング～男性職員の育児に関する制度説明会～」を実施した。</p> <p>（人事課）</p> <p>平成28年3月に策定した「仕事と生活の両立に向けた職場環境づくり」などの課題と課題解決のための目標を定めた「女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画」に基づき、女性職員を対象としたキャリアプランニング研修や課長以上の管理職を対象として「イクボス」を養成するための研修を実施した。</p>
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	<p>（人権政策室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枚方事業所人権推進連絡会総会において、ワーク・ライフ・バランス啓発リーフレットの配布を行った。 ・男女共生フロア・ウィル主催の男女共同参画週間事業において、「男女が共に生きやすい社会を！もっと元気にもっと楽しく生きるためのパートナーシップのすすめ」と題した男性の家事・育児参画に関する講座を開催したほか、子育て世代の男性を対象にした講座を実施した。また、ウィル・フェスタにおいて、ワーク・ライフ・バランス展を開催した。 <p>（職員課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでから取り組んでいるノー残業デー実施シートやノー残業デー放送に加え、男性職員の育児参加のための休暇等の取得促進するため、男性職員向けの育児休暇制度のパンフレットを配布するなど、制度周知を行った。 ・長時間労働の縮減に向け、働き方改革関連法による労働基準法の改正内容等を踏まえ、時間外勤務の上限について、原則、月45時間かつ年度360時間とする条例改正等を行い、令和元年度（2019年度）より実施することとした。 <p>（人事課）</p> <p>女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画に基づき、係員～係長級までの女性職員を対象としたキャリアプランニング研修や、課長以上の管理職を対象として「イクボス」を養成するための研修を実施した。</p>
2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	<p>（人権政策室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枚方事業所人権推進連絡会会員に向けて、ワーク・ライフ・バランス啓発リーフレットの配布を行った。 ・男女共生フロア・ウィル主催の男女共同参画週間事業において、「男の家事が社会を救う！楽しく学べるジェンダー論」と題した男性の家事・育児参画に関する講座を開催したほか、ウィル・フェスタにおいて、ワーク・ライフ・バランス展を開催した。また主催講座等開催時に市民にワーク・ライフ・バランス啓発リーフレットの配布を行い啓発に努めた。 <p>（職員課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革関連法の施行を受け、平成31年（2019年）4月から時間外勤務の上限規制（原則、月45時間・年360時間）を実施し、従来のノー残業デー放送等の取り組みに加え、所属長向けに労務管理の説明会を開催するとともに、時間外申請がない場合はパソコンが自動で電源オフされるPCシャットダウンシステムの導入を行った。 ・男性の育児参加のための休暇等の促進のため、取得者のインタビューなどを記載した啓発パンフレットの配布や庁内報の発行による啓発を行った。 <p>（人事課）</p> <p>「女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画」に基づき、各課長を対象として「イクボス」を要請するための研修を実施した。</p>
備考		
課題・今後の対応		<p>（人権政策室）</p> <p>男性を対象にした啓発講座など、市民への周知を進めると共に、市内の事業者、労働者などに対し、育児・介護休業制度の周知と利用促進に向けた啓発を行うために、関係機関等と連携を行い、働き続けやすい職場環境づくりを促進する必要がある。</p> <p>（職員課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働の縮減に向け、令和元年度（2019年度）より実施している時間外勤務の上限規制について、PCシャットダウンシステム等を活用しながら、庁内一体となり徹底できるよう推進する。 <p>（職員課・人事課）</p> <p>令和2年4月に改定した特定事業主行動計画に基づき、仕事と生活の両立や女性職員の活躍につながるよう、各種取り組みを推進する。</p>
達成状況（実行計画）		<div>○：達成に向けて進行・継続中</div> <div>達成状況（市長公約）</div> <div>○：達成に向けて進行・継続中</div>

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
育児休業を取得した男性職員数(累計)	○		12	13	17	22	29	33	29	人	
指標の説明			令和元年度までの取得者は33人となり、目標値を達成できた。引き続き取得促進に向けた周知に取り組んでいく。						当初目標値	達成年度	
市役所における育児休業を取得した男性職員数(累計)											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明									当初目標値	達成年度	
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明									当初目標値	達成年度	
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明									当初目標値	達成年度	

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	0						
2019(R1)年度	0						

整備事業の場合の総事業費

0 千円	(建設経費	0 千円	, 用地費	0 千円)
------	-------	------	-------	--------